

石田 頼 房 全 著 作 リ ス ト : そ の 1、編 著 書

< 1 A > 《編著書》

このリストは単著または編著書、編者のいない共著のみを掲げる。

石田 著作 番号	番号	発表年月	書 名	発行所	総 頁 数	共編著者
1 A-22	*		Tokyo's Urban Growth: problems, planning and the future			単著
1 A-21	*		欧米都市計画の日本への影響			共著・C. HEIN
1 A-20	*		市民がであう都市計画			単著
1 A-19	*	2004.	現代都市計画史の展望：1968-2019			単著
1 A-18		2006. 11	二人で歩いた まち むら 人生			共著：石田裕子
1 A-17		2004. 7	展望と計画のための都市・農村計画史研究』	南風舎		単著
1 A-16		2004. 4	日本近代都市計画の展開：1868-2003 [日本近代都市計画の百年増補全面改訂]	自治体研究社		単著
1 A-15		2003.	Rebuilding Urban Japan after 1945	Palgrave Macmillan		共編：C. HEIN, J. DIEFENDORF
1 A-14	復刻	2001. 9	『大都市の土地問題と政策』	東京都立大学 出版会	236頁	編著
1 A-13	13	1999. 6	『森鷗外の都市論とその時代』	日本経済評論 社	276頁	単著
1 A-12	12	1995. 3	『2019年への都市計画史 A Peaceful Path to real Reform of Japanese Planning』	私家版ハンフレ ット	70頁	単著
1 A-11	11	1994. 8	『都市計画と都市生活』	自治体研究社 ブックレット	75頁	単著
1 A-10	10	1992. 2	『未完の東京計画－実現しなかった計画の計 画史』 「」「」「」	筑摩書房	270頁 中 1-9、 139- 196、 258- 269	編著 共著者：クリアー・ ガリアン、加藤仁 美ほか

1 A-9 △	9	1990. 12	『都市農業と土地利用計画』	日本経済評論社	376頁	単著
1 A-8 ★ △	8	1990. 3	『大都市の土地問題と政策』 「開発利益の還元の歴史と政策」	日本評論社	236頁 中 3-6、 153- 197	編著 共著者：柴田徳衛、中林一樹ほか3名
1 A-7 △一部	7	1988. 10	『東京：成長と計画 1868-1988』 （「森鷗外の屋制新義と東京市建築条例」）	東京都立大学 都市研究センター	258頁 中 12-39、 65 -75、 216- 220他	共編者：石塚裕道、共著者：成田龍一、昌子住江ほか
1 A-6	6	1988. 10	Tokyo: Urban Growth and Planning 1868-1988	Center for Urban Studies, TMU	128頁 中 18-68、 83 -86	co-ed. : H. Ishizuka
1 A-5	5	1987. 11	日本近代都市計画史研究	柏書房	330頁	単著
1 A-4	4	1987. 1	日本近代都市計画の百年	自治体研究社	388頁	単著
1 A-3	3	1986. 2	新建築学大系・18巻、集落計画	彰国社	362頁 中 3-91、 305 -351	編著 共著者：木村儀一、紺野昭、池井昭夫
1 A-2	2	1984. 3	「建築線」計画から地区計画への展開	東京都立大学 都市研究センター	247頁 中 1-114、 199-24 7	共著者：池田孝之
1 A-1	1	1960. 4	大都市周辺地域の散落状市街化の規制手法に関する研究（東京大学学位論文）	私家版	147頁	単著